

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 245 2015.10.21 連絡先 402-1622 >



決算特別委員会

10月13日から19日まで、2014年度の一般会計・特別会計の決算特別委員会が開かれました。日本共産党市議団からは中村あさと議員と私松坂が委員として参加しました。13日から16日までは連日、順に、消防局、教育委員会、市民環境局、健康局、福祉局、市長公室、総務局、危機管理局、財政局、産業まちづくり局、農業委員会、建設局とそれぞれ報告があり、市民のみなさんの税金が無駄なく、市民のみなさんのために、また住みよいまちづくりのために使われているか、審査を行いました。19日の討論では、始まって3年目の中学校給食の喫食率が17.8%と下がり続けていることから根本的な見直しが必要であること、いまだに続くいわゆる同和対策関係の支出(子ども会運営費、市営住宅の使用料の減免など)は認められないこと、滞納者の納付金が完全な本税優先とはなっていないことなどをあげ、反対しました。その内容のほとんどは市民のために使われていますが、認められない内容が含まれているため、賛成できません。

新婦人 文化まつり

にぎやかに開催

18日、開かれた新婦人文化まつり。舞台では、ヴァイオリン演奏、歌曲、郷土の語り、紙芝居、小唄、コーラス、フラダンス、寸劇、着物リフォームファッションショーなど、会員さんの多彩な発表が繰り上げられました。展示部門では、絵手紙や様々な手作りの品が所狭しと並び、たくさんの方の参加でにぎわいました。

私松坂は、コーラスの伴奏でアコーディオンを弾きました。この形での伴奏は初めてでしたが、心地よい緊張感のもと無事演奏できました。



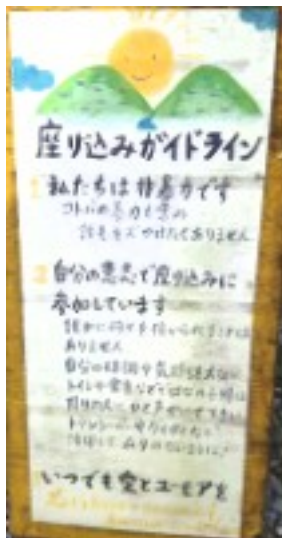
みち子のひとりごと 沖縄

沖縄での移動は、マイクロバスでした。郊外の風景は、畑のあちこちにコンクリート?づくりの四角い家、数年前に行った中国の雲南省の風景を思い出しました。文化はつながっているのでしょうか。また、むき出しになったところの土はオレンジに近い赤色、首里城などに使われている素材の色と同じです。やはり地元の人からつくられているのでしょうか。想像が広がります。那覇市内はさすが県庁所在地。ビルが立ち並び、人の行き来も多く、都会です。夜もネオンがにぎやかです。最終日に国際通りへ行った時も、観光客もいたのではありませんか、若者がたくさん歩いていました。那覇市全体として、とても元気のあるまちに見えました。さて、和歌山市と比べて元気な那覇市。人口は多いんだろうなあ調べてみると、なんと、約32万人。和歌山市のほうが多いのです。一緒にいったメンバーで話題になり、ある人の一言で決着しました。「沖繩には『大阪』はないからね」



沖縄へその3・・・ 沖縄のたたかいは静か かで深い

先に東村高江でのヘリパッド建設反対の座り込み支援に行きました。夜も車で泊まりこんで文字通り24時間監視を続けているとのこと。現地ですぐ目に入ったのが、右の立て看板。言葉も含め非暴力を貫いていること、そして「いつでも愛とユーモアを」。運動の底の深さを感じました。



続いて、辺野古の基地建設反対の座り込みへ。埼玉や東京からも来ており、全国の運動となっていることを実感しました。辺野古については、知事が埋め立て申請の許可取り消しを行い、新たな局面にきています。耐用年数は200年と言われる新基地。できてしまったら永久化されてしまいます。ここでも国はアメリカと



の約束が大事で、県民・国民の声を聞く耳を持ちません。国民の声が届く政治へと、変えていかなければと、改めて感じました。沖縄の問題は、沖縄だけの問題ではないのです。



10月13、14日、紙智子参議院議員や和歌山県議団などとともに森林調査に参加しました。これだけ多くの山に囲まれた和歌山県に住んでいても、今まで林業に触れることはほとんどなく、遠い存在に感じていました。今回の調査で和歌山の森林がどれだけ素晴らしいかを知り、和歌山に住むものとして誇りに思いました。歴史と伝統のある和歌山の林業、そこに携わる方々は皆、誇りと情熱をもつて苦労しながらも頑張っておられました。しかし、長年の自民党政治による外材依存の政策によって、林業そのものが成り立たない状態に陥っているなかで、森林の荒廃や後継者

こんにちは
さかぐち多美子です

不足など問題は山積みです。和歌山は「緑の雇用制度」の発祥の地で、その制度を利用して十数年働き続けている若手労働者が森林組合で頑張っています。林業に魅力を感じ、やりがいを持って働き続けている背景には子育てしやすいなど地域の環境も関係しているとの話もありました。しかし、不安定な日給月給など将来の不安も同時に話されていました。林業は日本にとっても大切な産業です。大切な森林を守るためにも今回出された課題をしっかりと踏まえ、今後の活動に生かしていきたいと思えます。



憲法フェスタ
9条をまんなかに～えがこう平和への道～
11月3日(火・祝)河北コミュニティセンター
講演：「戦争法制」で日本はどんな国になるのか
～私たちはどう対抗すべきか～
講師：高作正博さん(関西大学教授・憲法学)～
ほかに、映像の部屋・展示の部屋・リサイクルひろば・
写真展示など、もりだくさん
主催：守ろう9条 紀の川 市民の会 073 462 0539(原)